

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ジャンプ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 19日		～ 令和8年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 19日		～ 令和8年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との関係性が築けている	顔を見ての明るい挨拶、保護者の話に寄り添う、一方的にこちらの要求を伝えないこと等、保護者の対応について職員間で統一されている。また、支援の内容だけを伝えるのではなく、目的としていることまで伝え、支援に反映させている。	今後、職員の入れ替えがあっても継続していくことが大事。 一方的ではない関わり(双方での様子を共有)をしていく。ご家族の立場になって考えながらも、本人の成長の為に伝えるべきことは伝えていく姿勢でいる。 家族送迎の場合は情報が共有しやすいが、送迎利用の場合の対応について検討が必要。(電話やお手紙等活用)
2	利用児童や保護者のニーズ・課題を把握し、支援をしている。	毎日、児童やご家族の情報を職員間で共有している。前日の振り返りから対応を検討、支援方法を見直すか否かを話し合う。この流れが自然と日々できている現状がある。PDCAサイクルを意識した支援ができています。	職員の打ち合わせの記録はしているが、個々の児童の支援検討内容を記録することはできていない。支援の反省からみえてきたこと、そこから導き出した支援方法、その結果等を個別に記録しておけると、その子自身の成長の記録となり、他児童の支援の参考にもなるのではないかと。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や、兄弟交流の場が少ない。	保護者会については今年から年2回+保護者相談会1回実施している。兄弟交流の場はない現状。	来年度は地域連携部が発足しているため、その中で地域交流も踏まえた催し物を予定している。そこで、兄弟も一緒に参加してもらえればとよい。
2	保護者の相談に対して、迅速に対応できていない場合がある	相談を受けた職員が、全体に共有していない場合が考えられる。	保護者の相談を受けた際は、すぐに職員に共有する。自己判断せず、対応について他職員と一緒に考える。時間を要する場合にはその旨を保護者に伝えておく。
3	HUGが十分に活用できていない	現在HUGを活用しているのは、利用希望や事業所との連絡、実績確認等一部に限定されている。保護者からしてみるとHUG上で活用できる物が増えることを望んでいるのではないかと？	法人としては少しずつ、HUGに移行していくことを考えている。(活動記録や個別支援計画のやり取りなど)ただそのためには、保護者の方がマイページの活用ができていないこと、職員がHUGの操作を理解していることが条件となる。今後、保護者のHUG登録確認と、HUGを上手く活用できていない保護者への対応、さらに職員同士で操作について確認する場を設け、活用の幅を広げていく必要がある。
4	事業所のマニュアルなどが周知されていない	委員会関係のマニュアルが保護者の方には周知する機会がない。ホームページに掲載されているが、知らない保護者が多い。	委員会関係の研修や訓練の情報と合わせて、マニュアル掲載について月便りで周知していく。